

新宮市立緑丘中学校

H26年度 防災学習
12.25

生徒数 243名
1階 9m
3階 16m
屋上 20m



月	時	会議・研修・授業名等	場 所	内 容	担当等	備 考
5月10日	15:15	防災・人権部会開き	緑丘中	今年度の防災教育について協議・立案	部会員	
5月13日		市学校防災教育関係者会議	城南中	平成26年度学校防災教育計画(中授業公開等)	清水	
5月29日		第①人権(防災)部会協議	緑丘中	「人権部会」で授業等について協議	部会員	
6月30日	12:00	防災避難授業	光洋中	「ハザードマップの見方・考え方」	清水・森浦	群馬大・金井清孝
6月30日	14:10	第①ワーキング会議	〃	授業総括・各収容・公開授業・市防災	清水・森浦	年間適宜開催
7月2日		第1回避難訓練	緑丘中	津波想定避難訓練・屋上階へ避難		
8月19日		第②人権(防災)部会	〃	本校防災教育取組(全校・学年等)	部会委員	授業計画
8月		第②ワーキング会議	城南中			
8月3日	8:40	全校防災集会	緑丘中	黙とう・講話・救命カールー試食・防災通信①発行	森浦	防災集会
9月		日赤講話・体験学習会	〃	日赤講師による講話	各学年	外部講師招待
9月10日		第③人権(防災)部会	〃	各学年の授業研究について	部会員	
9月		適宜	台風12号被災講話	台風12号・大川小からの学び	各学年	学校長講話
10月		防災通信②号発行	〃	全家庭配布		
11月		防災通信③号発行	〃	全家庭配布		
11月28日	5限	第②回避難訓練	〃			地震・火災想定
11月28日	14:40	全校防災公開授業	〃	各クラスに保護者・地域住民対象の授業公開	各クラス	各防災学習單元
	15:30	第③ワーキング会議	〃	群馬大金井先生、関係者会議	森浦・清水	
12月11日	14:30	第④ワーキング会議	神倉小	群馬大片田・金井先生、避難所、各実践等	清水	
12月26日		全国防災教育推進連絡協議会	岩手県・釜石市	群馬大片田先生主宰の初会議、全席6か所	森浦	

※別紙各学年
指導單元は
別途単元表参照

小学校でたくさんの大切な知識を学んだうえで入学して
くる生徒に何を伝えるか？

防災学習を通して、人としての在り方や生き方、命の
大切さを学ばせたい。また、生きていくうえで役立つ
知識になるように。

各学年 目標

1学年 自ら学ぶ力を身につけさせる

2学年 自ら行動する力を身につけさせる

3学年 自ら貢献する力を身につけさせる

1学年

時数 (10h)	単元名
1	稲むらの火
2	地震・津波のメカニズム調べ
3	地震の揺れの特徴を知る
4	避難三原則の教え
5	日本赤十字講話
6	全校防災集会
7	避難訓練
8	台風12号・大川小について
9	避難カードの活用
10	防災食

2学年

時数(10h)	単元名
1	先人から学ぶ
2	避難三原則
3	避難カードの活用
4	避難訓練
5	日本赤十字講話
6	全校防災集会
7	台風12号・大川小について
8	稲むらの火
9	家庭内防災を考える
10	持ち出し袋を考える

3学年

時数(10h)	単元名
1	ハザードマップの見方・活用・感想
2	心肺蘇生法(新宮消防)、止血(日赤)
3	避難カードの活用
4	日本赤十字講話
5	全校防災集会
6	被害者ゼロを目指して
7	避難訓練
8	台風12号・大川小について
9	地域住民支援を考える
10	中学生としてできること





10

新宮管工事組合で学んだこと

私たち防災班は、新宮管工事組合の山口さんと中村さんに会いに行きました。そして、いろいろと聞いていますと次のことがわかりました。

- ・一日に1人に必要な水 = **3ℓ**
- ・台風は予測できるが、地震はできない。
- ・**生命維持のためには水が必要。**
- ・夜寝るとき、**ペットボトル**をそばに置く。
- ・地震は**忘れた頃**に来る。
- ・そのため、**日々考える**ことが大切。



11



12

生徒の様子について 防災学習を通して学んだこと。

小さい子やお年寄りを避難所まで連れていくこと
自分の命を最優先する。無理に助けにいかない。
 応急処置。
 非常食。ライフライン。
中学生が中心となって動かなければならないこと。
 非常食を常に用意しておくこと。
 高いところへ逃げる。
命の大切さ。
 1日1日を精一杯生きること。
 救急カーや防災食の使い方など。
想定にとらわれない。
 自分たちで判断して素早く逃げる。また落ち着いて行動する。
 協力し合うこと。
 生きるために、水・電気・食糧などが必要だということ。
 家族との集合場所を決めておくこと。
率先して避難すること。
 命がもっとも大切であること。まず自分の命。
 日頃から災害に備えておくこと。

13

今後防災学習で学んでみたいこと

災害が起こったとき、大人がいなかったときどうすればよいか。
 自分が生まれる前に起きた震災について知りたい。
 今よりも災害への備えができていなかったときはどのようにしていたのか。
 小さい子やお年寄りを連れていくためにはどうすればよいか。
 災害時、避難所で必要なものは何か。
 ロープの使い方やより高度な応急処置。
 過去の災害。
学校が壊れた時のこと。
 自分の住んでいる地域の高いところ。
防災についてもっともっと学んでみたい。
 防災についてもっと調べてみたい。
 地震の知識。
一人のとき、どうすればよいか。
 津波と火災が同時発生した時の逃げ方。
 水害について学んでみたい。
 南海トラフについてもっと学んでみたい。
 ライフラインについてもう一度詳しく学んでみたい。

14

非常食についてもっと学んでみたい。
 東日本大震災について調べてみたい。
 ライフラインが途切れたときどうしていけばよいか。
 各災害で亡くなった人の数を知りたい。
 いつ地震が来るのか。日本のプレートについて。
被災者の方のお話を聞いてみたい。
 避難所での生活について。身の回りのものでできるケガへの対処法。
 連絡の取り方。
 新宮市の被害想定。
 津波の映像を見てみたい。
より実践的な避難訓練。
一番安全なところ。
 自分の住んでいるところの避難場所を知りたい。
災害時、中学生としてできること。
 消火器の場所を知りたい。
 津波のスピード、高さなどを知りたい。
生き残ったあとのたいへんさを知りたい。
学校で学んだことを親に伝えること。
 様々な場所の海拔を知りたい。

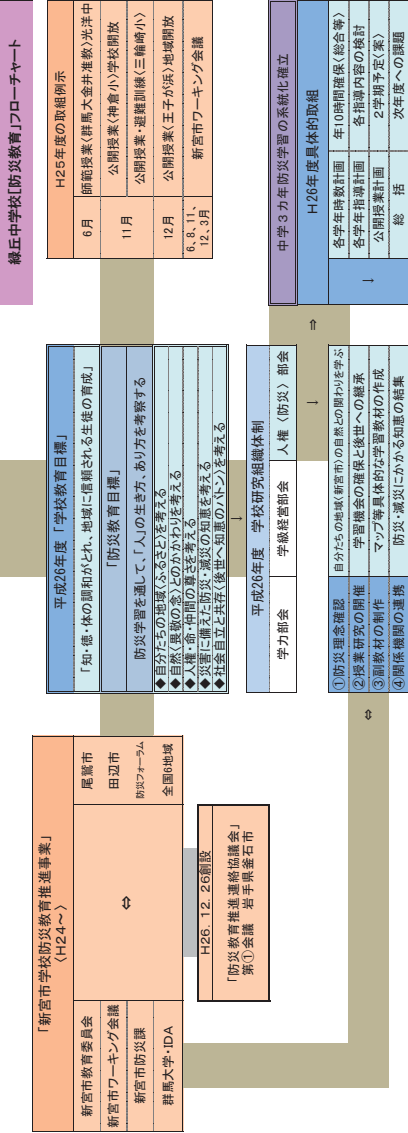
15

◆防災年間計画

H26.12.12確認

新宮市立緑丘中学校「防災・人権教育」

H26年度



月	時	会場	内容	担当者	備考
5月10日	15:15~	緑丘中	今年度の防災教育について協議・立案	部委員	
5月13日	5月	城崎中	平成26年度学校防災教育計画(中授業公開等)	清水	
5月29日	5月	緑丘中	「人権部会」で授業等について協議	部委員	
6月30日	13:00~	光洋中	「ハザードマップの見方・考え方」	清水・森浦・森浦	群馬大・金井准教授 年間適宜開催
6月30日	14:10~	〃	授業総括・各校取組・公開授業・市防災津波想定	清水・森浦	
7月2日	〃	緑丘中	津波想定・避難訓練・屋上階へ避難	部委員	授業計画
8月	〃	〃	本校防災教育取組(全校・学年等)	部委員	
8月	〃	城崎中	〃	〃	
9月3日	8:40~	緑丘中	黙とう・講話・救急カー・試食・防災通信①発行	森浦	防災委員会
9月	〃	〃	日赤講話・体験学習	各学年	外部講師招聘
9月	〃	〃	第③回人権(防災)部会	部委員	
9月	適宜	〃	台風12号被災講話	各学年	学校長講話
10月	〃	〃	防災通信②号発行	〃	
11月	〃	〃	防災通信③号発行	〃	
11月20日	5限	〃	第2回避難訓練	〃	地震・火災想定
11月28日	14:40~	〃	全校防災公開授業	各クラス	各防災学習單元
〃	15:30~	〃	第③ワーキング会議	森浦・清水	
12月11日	14:30~	神倉小	群馬大・金井先生・関係者会議	森浦	
12月28日	〃	岩手県・釜石市	群馬大・大田先生・津波の被災者・関係者会議	森浦	

◆年間計画・取組↓

※別紙各学年指導單元は別途單元表参照

◆「防災学習」アンケート H26.12.22

今年、各学年年間各10時間の防災学習・体験・避難訓練等を実施しました。以下の点について、アンケートをとり来年に繋げていきたいと考えています。ご協力、宜しくお願いします。	検査対象生徒数									
	1年			2年			3年			全
	27	25	26	28	28	27	25	25	25 (未回2)	234

1. 印象に残った防災学習はどんな内容ですか？あてはまるものすべて右の欄に○をつけて下さい。【複数回答可】

① 全校防災集会(9月3日)	15	9	13	12	13	8	7	12	11	100
② 救急カーの試食体験(9月3日)	21	21	22	25	25	20	20	21	13	188
③ 台風12号被害・東北地震学年学習等(9月適宜)	18	15	12	14	15	12	11	11	14	122
④ 防災通信の記事(適宜)	8	2	13	3	5	3	5	8	7	54
⑤ 日赤担当の講話(10月1日)	21	21	18	19	24	17	13	16	9	218
⑥ 各学年での防災授業(下に具体的な内容を書いて下さい)(適宜)	12	8	8	3	3	3	3	6	2	48
⑦ 避難訓練(7月2日・11月27日)	23	11	17	19	20	17	18	18	14	157
⑧ 全校防災参観授業(11月28日)	20	15	19	16	19	13	13	10	12	160
⑨ その他(下に具体的に書いて下さい)	1	1	6	1	0	0	1	0	0	10

2. 防災学習で学んだ内容で、自分として大切にしなけらばならないと感じた事は何ですか？

- 【1年】 ライフラインの事19、災害の備え16、命の大切さ12、救助法2、訓練の大切さ1、弱者救済3、中学生のできる事5、避難場所2、非常食4、災害後の生活1、生きる事1、防災学習1、避難三原則1、共助2、救助法1、連絡のとり方1
- 【2年】 災害の備え18、火災と地震1、命の大切さ18、防災グッズ3、共助1、避難場所11、中学生のできる事3、おはしも1、防災学習2、
- 【3年】 避難方法15、命の大切さ17、助け合い11、災害時の行動3、生きるという事3、人とのつながり2、災害の備え2、自分のできる事4、家族の話し合い1、安全な場所10、弱者救済1、津波でんでんこ3、想定外2、防災備品1、海抜学習1、避難生活2、震度の意味4

3. 今後、防災学習で学びたい事(知りたい事、調べたい事、大切だと思う事)は何ですか？

- 【1年】 防災食3、高いところはどこか13、避難方法12、自身について4、新宮の津波1、ライフライン3、災害備品2、弱者救済5、ロープの使い方1、災害後の対応2、災害の備え3、防災学習11、過去の災害2、水害1、南海トラフ1、東北大震災1、体験談1、連絡方法1、
- 【2年】 ライフライン1、消火器の場所・使用方法4、津波の速度4、命の大切さ7、災害後の生活4、安全な場所18、共助1、津波の事6、避難経路5、堤防の役割1、過去の地震1、災害の備え3、生き残る知恵1、南海トラフ1、避難訓練2、東北大震災1、地域の被害想定1、防災食2、津波と台風1、火山1、応急手当2
- 【3年】 被害想定2、避難意識1、対策方法2、避難訓練1、防災食1、予測と対策1、高さの確認4、地震学習3、南海トラフ1、ボランティア活動1、発生確率2、災害時の対応7、被災後の生活1、救命講習1、命の大切さ1

4. 学校で学んだ事を家庭で話した事はありますか？該当するものを右の欄に○をして下さい。

① よくしている	8	1	5	1	4	2	3	1	4	29
② 時々している	14	14	7	15	13	12	11	9	8	103
③ していない	5	9	13	11	10	13	11	15	10	92

5. 学校から配布している「防災通信(④号配布済)を家庭で見せていますか？

① よく見せている	21	11	13	16	14	11	14	12	13	115
② 時々見せている	5	13	5	10	14	13	5	11	5	81
③ 見せていない	1	2	5	2	0	3	5	2	4	24

Q1 海抜何mですか？【正答数】

① あなたの教室の海抜は何mですか？	25	22	20	7	5	18	7	10	14	128
② 緑丘中学校の正門は何mですか？	10	10	15	2	1	4	0	6	4	52
③ あなたの家の海抜は何mですか？	5	6	3	5	3	9	0	2	3	36